



大阪中央ブロック
中央北支部
(株)松与 松浦 昌晃

どこかのお寺と思える風格ですが、実は1880年に地域の住民の寄付によって建てられた大阪市中央区にある幼稚園です。木造建築としては日本最古の幼稚園で、園内にあるせん状の滑り台は重要文化財に指定され、楽器なども歴史的に貴重な品が大切に残されています。明治時代に地域の子どものためにお金を出し合うという地域貢献が生んだ快適にすごせる幼稚園です。



また、中之島にある大阪市中央公会堂は蔵屋敷の廃止後に衰退していた地区の活性化のために岩本栄之助が、中之島図書館は住友家15代の吉左衛門友純らが私費を投じてそれぞれ建てられました。当時の商売人たちはもうけるだけでなく地域貢献もしっかりしていたようです。

圧巻は大阪城の天守閣。市民の寄付で昭和6年に建てられました。時代背景は日中戦争に突入する直前、大阪 城付近も軍隊が駐屯しており「戦争時に攻撃目標となる高い建物で、しかも軍の施設を見下ろす高台に建てるのはけしからん！」ということになったそうですが、集まった150万円（現在の約4000億円）で天守閣だけでなく陸軍第四師団庁舎も建てるという条件で建築されました。（陸軍第四師団庁舎の建設費の方が高かったらしいです）

一人ひとりの力は小さくても「地域のために」という意識が、世代を超えて何かを残していくのですよね。幼稚園の前で写真を撮りながら考えてしまいました。

この原稿を読んで結構ゾクゾクと鳥肌が立ちました。成功した人たちの夢と力添えて地域に必要とされる建物が生まれた歴史です。大阪城内に建てられた陸軍第四師団庁舎は大阪市立博物館として、現在の歴史博物館ができるまで大阪の文化と歴史を展覧しました。昨年9月修築工事に入り、来年には再びお目見えします。（編集 西岡）